

——「アメイジンググレイス」などの讚美歌から、「聖者の行進」はじめスタンダード曲の数々——

# ニューオリンズ Family Concert ジャズコンサート



20世紀初頭の  
伝統的トラッドジャズを  
継承するジャズバンド

演奏  
ニューオリンズ  
ジャズハウズ

加藤 晋一(トランペット)  
田村麻紀子(クラリネット)  
近藤 雅俊(トロンボーン)  
守屋 雄策(バンジョー)  
伊藤 譲一(ウッドベース)  
後藤 翼(ドラムス)

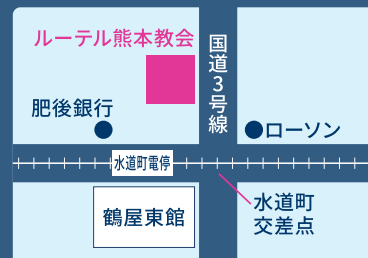
2023 **6/24** (土) 13:30~14:50 (受付 13:00~)

会場

日本福音ルーテル熊本教会

Tel 096-352-1772 熊本市中央区水道町1-21

\*駐車場はございませんので、公共交通機関もしくは周辺の有料駐車場をご利用ください。



YMCA  
会場  
駐車場有

本館(中央区段山)

**6/23** (金) 18:30~19:50  
受付18:00~

Tel 096-353-6391 (音声ガイドダンス①)

みなみセンター(南区田迎)

**6/25** (日) 13:30~14:50  
受付13:00~

Tel 096-353-6391 (音声ガイドダンス②)

■入場料: 一般2,000円 小中高・学生500円 幼児無料(保護者同伴)

当日各会場で受け付けます

# New Orleans Jass Concert



ニューオリンズジャズハウズは故東海林幹雄（リーダー・ピアノ）と加藤晋一（トランペット）が2005年に結成。今年20周年を迎えます。

早稲田大学ニューオリンズジャズクラブ（創部1957年）シニアが中心メンバー。東京浅草はじめ全国で演奏活動を行う。ルイジアナ州ニューオリンズジャズ&ヘリテイジ・フェスティバルでも高い評価を得る。2007年以来、熊本YMCA70周年、熊本ジェーンズワイズメンズクラブ30周年、むさしワイズメンズクラブ例会、阿蘇キャンプ、各センターで、長年の交流演奏会を行ってきました。

## ニューオリンズ・ジャズとは

ジャズ発祥の地・ルイジアナ州の黒人奴隷は、週一度の休み、集会・楽器の使用の自由。アフリカ音楽、カリブや、フランス風の音楽を楽しんでいました。19世紀半ば、南北戦争後の軍楽隊の管楽器が大量に放出され、それらを、奴隷解放となった人々が演奏し、ジャズが誕生したと言われます。彼らが出会った教会での讃美歌、世界各国の移民が持ってきた民謡等も、ジャズのルーツに影響を与えました。虐げられ、差別的社会に生きる彼らが演奏したニューオリンズ・ジャズは、社会的弱い立場にある人々へ希望と勇気を与える「平和の音楽」と言われます。

## 熊本YMCAとニューオリンズ・ジャズハウズとの歴史物語

熊本洋学校（明治4年開校）卒業生で牧師の海老名弾正は、洋学校の流れを継ぐ熊本英学校の校長として明治22年熊本に赴任。福田令寿熊本YMCA初代理事長はその英学校第一期生。英語教師に熊本草葉町教会宣教師も務めたシドニー・ギューリックがいました。（弟ルーサー・ギューリックは米国YMCA主事、バスケットボールの発案や、YMCAの赤▽マークを考案しました）。

シドニー・ギューリックは、後に同志社等で長年教えます。彼は、大正2年に帰国後、米国での日本人移民排斥運動に直面。そこで旧知の実業家、渋沢栄一（環太平洋YMCA議長）と将来の平和を担う日米の子どもたちを対象に、全米の教会学校、YMCA・YWCA、ガールスカウト等の協力のもと「日米友情人形交流事業」を始めました。

昭和2年2月米国から横浜へ約12,000体の人形が横浜へ到着し全国の小学校と幼稚園へ送られ、同年秋、市松人形58体が日本の都道府県単位で米国各州へ答礼として送られました。しかし、第二世界大戦中米国からのお人形たちは、敵のスパイとして多くが破壊されました。今日、全国に約300体が現存。八代には宮原小学校と鏡小学校に各1体が学校の宝として大切に保管されています。

熊本からの答礼人形はルイジアナ州立博物館へ。しかし、博物館のコレクション内で紛失。これを知った熊本市民有志と熊本YMCAは1987年ギューリックの孫・ギューリック三世を熊本へ招き新日米友情人形交流事業を再開。男女2体の市松人形を同州へ持参することにしました。この2体のお人形は、州の判断でニューオリンズYMCAが州を代表し展示保管することとなりました。しかし、2005年のハリケーン・カトリーナにより、この日本人形たちは流失しました。これを聞いた熊本ロータリークラブと熊本YMCAは新しい日本人形・阿蘇桜子を贈り、現在ニューオリンズYMCAに保管されています。

ニューオリンズ市と同市YMCA被災復興支援のため、2007年秋、熊本・八代・鹿児島市の3市で、市民有志、各地ワイズメンクラブ、熊本YMCAは、ニューオリンズより実力派ジャズバンド（リーダーは渡辺真理さん）を招き約1,500名が集うチャリティコンサートを開催しました。その折、東京会場（渋谷の日本基督教団山手教会）の責任者が「ニューオリンズ・ジャズハウズ」のリーダー・故東海林幹雄さんでした。以来、ハウズと熊本YMCAは交流を行っています。